

# 世界の諸地域 南アメリカ州 ～ブラジルを事例に南アメリカ州の特色を探究した実践～

山梨大学教育学部附属中学校 梶原 隆一

## 1 はじめに

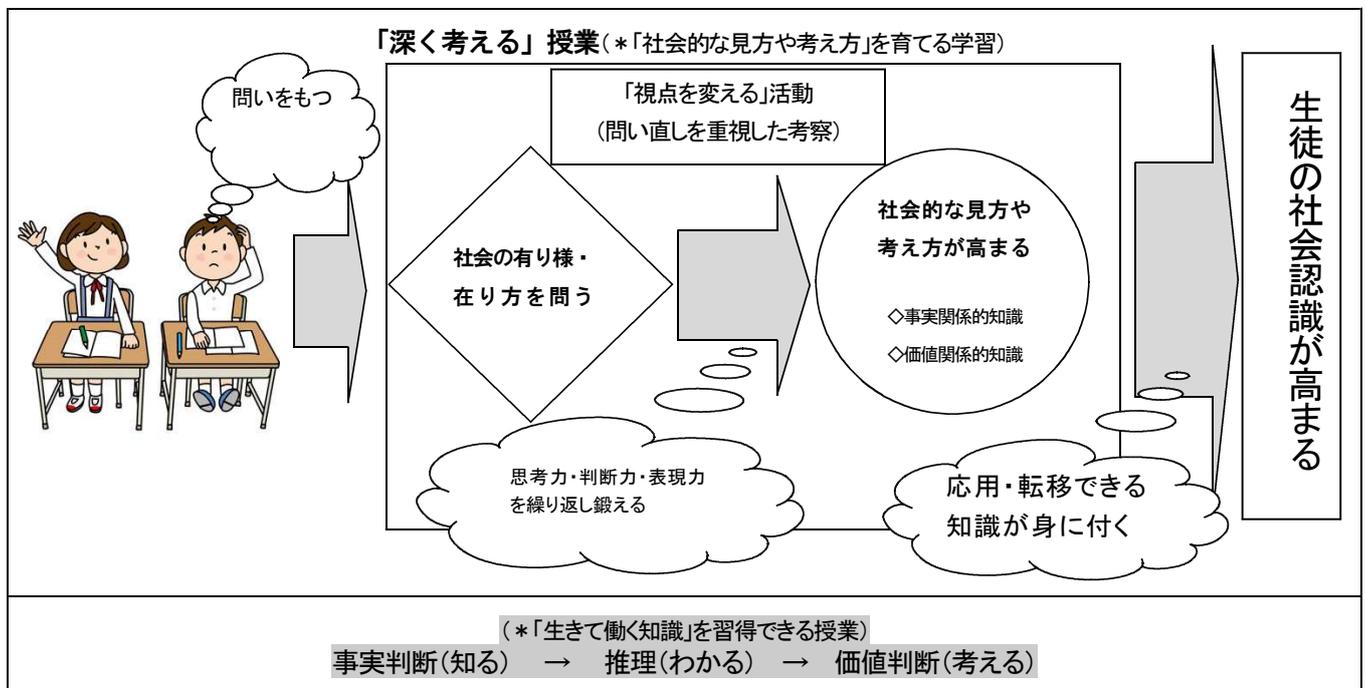
2016年8月、ブラジル リオデジャネイロにおいて南アメリカ州で初のオリンピックが開催された。治安の問題や競技施設の建設の遅れといった様々な問題が報じられたが、無事に大会の全日程を終え、選手の活躍は今でも私たちの脳裏に焼き付いている。

さて、「南アメリカ州はどんな所か？」と問われた際に、学習者である生徒はどのように答えるだろうか。「サッカーが強い国が多い」や「リオのカーニバル」といった表面的な事象（固定的な知識）のみを答え、それを南アメリカ州の特色であるにとらえることになるのではないだろうか。

本校社会科では『社会認識を高める授業の創造～「社会的な見方や考え方」を育てる学習を通して～』を研究主題にしているわけだが、教科研究総論の中に以下の記述がある。

「社会科授業は生徒に単に固定的な知識を詰め込むのではなく、生きて働く知識（学習や日常生活で出会う諸問題に生かすことができ、他の事象や事例に応用・転移できる知識、つまり事象間の関連を自ら見出し、そこから社会を見つめ直すことが可能な知識）を習得させることが重要であると考えてきた。また生きて働く知識を習得できる授業こそ、生徒の社会認識を高めることができる授業であると考え、研究実践に取り組んできた。」

※以下は本校社会科の研究のイメージ図



そこで、オリンピックの開催で注目を浴び、かつ今年度から改訂された教科書において、環境問題だけでなく都市問題も新たに付け加えられた南アメリカ州を題材に、本校社会科で目指す授業が創造できるよう実践を行った。

## 2 単元計画

大観学習（地域の特色を習得する）をした上で、主題（本実践では「経済発展」を定めた）による追究学習を行うという、世界の諸地域の学習を進める際の基本的な流れは変えてはいない。しかし、生徒の社会認識をさらに高めていくための手立てとして、「南アメリカ州はどんな所だろうか？」と問い続けることを単元全体を通じて意識的に行った。また、生徒同士が書いたことを交流させる時間も設けるよう工夫した。

過程	時間	主な学習活動	評価
導入	1	「南アメリカ州はどんなところだろう？」 ・ 現段階における南アメリカ州についての知っていること・イメージを書かせる。	
		「南アメリカ州の自然環境」 「多様な民族と人々の生活」 ・ 教科書や地図帳、DVD等の資料を用いて、自然・	・ 地図や写真、グラフ、DVDの映像等から南アメリカ州の自然

地域の特色を習得する		歴史・文化などの視点から南アメリカ州について概観する。 ・本時で学習したことをもとにして、「南アメリカ州はどんなところだろう？」を書かせる。	・歴史・文化等の特色を読みとりまとめている。【技能】 ・南アメリカ州への関心を高め、自然・歴史・文化等の特色をとらえようとしている。【関心・意欲・態度】
	1	「大規模化する農業と発展する工業」 ・南アメリカ州の産業の変化を、栽培する作物や輸出品に着目して調べ、まとめさせる。その際、ブラジルに着目し、特定の産品に依存する経済からの脱却を図り経済発展を目指そうとしていることに気づかせる。 ・本時で学習したことをもとにして、「南アメリカ州はどんなところだろう？」を書かせる。	・南アメリカ州の産業の変化について、適切に読み取りまとめている。【技能】 ・南アメリカ州への関心を高め、産業の特色をとらえようとしている。【関心・意欲・態度】
主題を追究する	1	「ブラジルに見る環境問題」 ・ブラジルを事例にして、アマゾンの熱帯林が開発され、熱帯林の減少が続いていることに気づかせる。その際、日本が熱帯林の開発に関わっていることに注目させ、経済発展を目指しながら開発と環境保全のバランスをどうとっていけば良いか考察させる。	・ブラジルを事例に、開発が環境に与えた影響について、日本との関わりという視点も含めて理解している。【知識・理解】 ・ブラジルに見られる環境問題について、開発や環境保全の視点からどのように向き合っていけば良いのか、表現している。【思考・判断・表現】
	1	「産業の発展と開発にともなう問題」 ・ブラジルを事例にして、高層ビルが建ち並ぶ都市部にスラム（ファベラ）が存続することを気づかせ、どうしてこのような現象が起きているのか考察させる。	・ブラジルを事例に、経済発展をしている国の中にスラム（ファベラ）が存続する有り様について、その理由を表現している。【思考・判断・表現】
まとめる	2	「南アメリカ州のまとめ」 ・ブラジルを事例に学習してきた経済発展にともなう環境問題や都市問題は、他の南アメリカ州の国々でも見られる特徴であるかどうかを資料をもとにして吟味する。 ・これまで学習したことをもとにして、「南アメリカ州はどんなところだろう？」を書かせる。	・南アメリカ州の地域的特色について、根拠となる資料を活用し、適切に読み取りまとめている。【技能】 ・南アメリカ州の地域的特色について、表現している。【思考・判断・表現】

### 3 授業の実際

#### (1) 授業展開

第1時

	発問(◎)・質問(○)・指示(・)など	教授・学習活動	資料	習得させたい知識・予想される反応
導入	◎南アメリカ州はどんな所だろう？  ・今回は南アメリカ州を概観し、学習していきましょう。	T：発問する。 S：考えをノートに書く。 S：書いたことを小グループ内で交流する。 T：学習主題を提示する。		・サッカーが盛んな地域。 ・日本から遠い所にある州。・・・など
展開 I	◎南アメリカ州は、どんな自然環境の特色があるのだろうか？ ・気候という視点に立って南アメリカ州の特色を調べてみよう。  ・実際の様子をDVDで眺めてみよう。	T：発問する。	1	・南アメリカ州の約半分は熱帯の地域である。 ・アンデス山脈沿いや南アメリカ州の南端は寒帯が広がっている。
		T：調査主題を提示し、指示する。 S：調査し、まとめ、発表する。	2	
展開 II	○これはサッカーのブラジル代表チームの写真です。どんなことに気づきますか？	T：質問する。 S：答える。	3	・白や黒、茶色など様々な色の肌の人がいる。

	<p>◎なぜ、サッカーのブラジル代表 チームは多様な民族から構成されているのだろうか？</p> <p>・DVDを視聴しよう。</p> <p>○南アメリカ州の各国の人種・民族構成の資料を見て下さい。どのようなことがわかりますか？</p>	<p>T：発問する。 S：推測する。</p> <p>T：指示する。 T：質問する。 S：答える。</p>	2 4	<p>・ブラジルの歴史が関係しているのではないかな？</p> <p>・アルゼンチンはヨーロッパ系が多い。 ・ペルーは先住民が多い。 ・パラグアイ、チリ、コロンビアは混血が多い。 ・ブラジルはポルトガル語だが、南アメリカ州の多くの国はスペイン語を話している。</p>
まとめ	◎南アメリカ州はどんな所だろうか？	<p>T：発問する。 S：学習したことをもとに、ノートに書く。</p>		<p>◎自然環境の視点で見ると、南アメリカ州は熱帯から寒帯まで分布しているが、アンデス山脈は標高が高いため、赤道の近くでも寒冷である。</p> <p>◎植民地支配や世界各地からの移民を受け入れてきた歴史もあり、言語や人種・民族の構成が多様で、文化もさまざまな地域のものが見られる。</p>

第2時

	発問 (◎)・質問 (○)・指示 (・) など	教授・学習活動	資料	習得させたい知識・予想される反応
導入	<p>・前は、南アメリカ州の自然環境や歴史、文化について学習しました。</p> <p>○身近な物で南アメリカ産のものがないだろうか？</p> <p>・今回は南アメリカ州の産業について学習していきましょう。</p>	<p>T：説明する。</p> <p>T：質問する。 S：考えをノートに書く。 S：発表する。 T：学習主題を提示する。</p>		<p>・前の復習</p> <p>・コーヒー豆</p>
展開 I	<p>◎南アメリカ州の産業には、どのような特色があるのだろうか？</p> <p>・南アメリカ州の国で生産量が世界の上位（3位以内）に入っている農産物を調べよう。</p> <p>○調べてみて、共通して言えることは何だろうか？</p> <p>・本当にそうなのでしょう？</p> <p>○ブラジルの輸出品の変化を見て、どんなことに気づきますか？</p> <p>○ブラジルはコーヒー豆だけでなく、さとうきびも生産量が第1位ですが、それはなぜだろうか？</p>	<p>T：発問する。</p> <p>T：調査主題を提示し、指示する。 S：調査し、まとめ、発表する。 T：質問する。 S：答える。</p> <p>T：質問する。 T：質問する。 S：答える。</p> <p>T：質問する。 S：答える。</p>	5 6	<p>・サトウキビの生産が第1位 ・牛肉の生産が第2位・・・等</p> <p>・ブラジルがすべての項目で上位に入っている。ブラジルは農業に力を入れている国ではないかな？</p> <p>・今までは、コーヒー豆を主に輸出し、モノカルチャー経済の様子が見られたが、現在は資源や機械類など様々な種類の物を輸出している。※モノカルチャー経済の復習</p> <p>・バイオ燃料の原料にしているから。 ・バイオ燃料とは環境に配慮されたエネルギー。</p>
展開 II	<p>・南アメリカ州の国で生産量が世界の上位（3位以内）に入っている鉱産資源や工業製品を調べよう。</p> <p>○先ほど調べた農業と比べてみると、鉱業、鉱業はどんなことが言えるだろうか？</p>	<p>T：調査主題を提示し、指示する。 S：調査し、まとめ、発表する。 T：質問する。 S：答える。</p>	5	<p>・ブラジルは、鉄鉱石の産出、航空機の生産がともに3位で、農業のみならず鉱工業も盛んに行われている国である。 ・チリは銅鉱石産出で1位である。</p> <p>・ブラジル以外にもチリが銅鉱石産出1位など、鉱産資源に恵まれている国が多い。</p>
ま	◎南アメリカ州はどんな所だろうか？	T：発問する。		・南アメリカ州は鉱産資源に恵まれた地域である。特にブラ

と め		S : 学習したことをもとに、ノートに書く。	ジルはコーヒー豆の輸出に頼るモノカルチャー経済からの脱却を目指し、工業化も進んだ国である。
--------	--	------------------------	---

第3時

	発問 (◎)・質問 (○)・指示 (・) など	教授・学習活動	資料	習得させたい知識・予想される反応
導 入	<p>・前回の授業は、南アメリカ州の産業の特色について、工業化が進んだブラジルを中心に学習してきました。</p> <p>○ブラジルの工業化は、人々にどのような影響をもたらしたと考えますか？</p> <p>○次の資料からどんなことがわかりますか？</p> <p>○さとうきびとえば、前回、環境に配慮されたバイオエタノールの原料になることを学習しましたが、この有り様をどう考えますか？</p> <p>○なぜ、ブラジルは森林を伐採してまで開発に力を入れるのだろうか？</p>	<p>T : 説明する。</p> <p>T : 質問する。 S : 推測する。 T : 質問する。 S : 答える。 T : 質問する。</p> <p>S : 各自で解釈し、答える。</p> <p>T : 質問する。 S : 各自で解釈し、答える。</p>	7	<p>・前回の復習</p> <p>・豊かになり、便利な生活。生活環境の悪化・・・など</p> <p>・森林を伐採して、製材所や牧場、さとうきび畑にしている。</p> <p>・バイオエタノールは環境に配慮されたエネルギーだが、これでは意味がない。環境への配慮どころか破壊している。 ・・・など</p> <p>・産業を盛んにして、経済を発展させたいからではないか？ ・・・など</p>
展 開 I	◎経済を発展させるために熱帯林を開発するブラジルの様子を見て、どのようなことを感じますか？	T : 発問する。 S : 各自で解釈し、表現する。		・ブラジルは自分たちが豊かになることを優先し、地球環境を破壊しているので良くないと思う。・・・など
展 開 II	<p>・この資料はブラジルにある世界有数の鉱山であるカラジャス鉄山に関する資料です。資料からどんなことがわかりますか？</p> <p>・この資料はブラジル高原に広がるセラードと呼ばれる草原地域（サバンナ）に関する資料です。資料からどんなことがわかりますか？</p>	<p>T : 発問する。 S : 答える</p> <p>T : 発問する。 S : 答える</p>	<p>8～ 10</p> <p>11</p>	<p>・日本はブラジルからたくさんの鉄鉱石を輸入している。(国別の輸入量で第2位)</p> <p>・カラジャス鉱山で掘りだされた鉄鉱石が日本などに輸出されている。</p> <p>・カラジャス鉱山から鉄鉱石を運ぶための熱帯林の伐採に日本もお金を出す形で関わっている。</p> <p>・日本の支援もあり、セラードで大豆栽培が始まった。</p> <p>・大豆栽培が大規模に行われるようになった結果、セラードでは生態系や土壌汚染といった環境問題が起きている。</p> <p>・カラジャス鉄山の時と同様に、ブラジルの環境破壊に日本が関わっている。</p>
ま と め	◎経済を発展させるために熱帯林を開発するブラジルの様子を見て、どのようなことを感じますか？改めて考えてみましょう。	T : 発問する。 S : 学習したことをもとに、ノートに書く。		・ブラジルの人たちが自分の都合を優先して開発を進め、その結果、環境問題が起きたと思っていたが、日本などの先進国の影響もあり、環境問題が起きていて、単純に解決ができないと感じた。・・・など

第4時

	発問 (◎)・質問 (○)・指示 (・) など	教授・学習活動	資料	習得させたい知識・予想される反応
導 入	<p>○これは何の写真でしょうか。</p> <p>○ブラジルの輸出額はどのように変化しているのでしょうか。</p>	<p>T : 質問する S : 答える</p> <p>T : 質問する S : 答える</p>	<p>12</p> <p>13</p>	<p>・リオデジャネイロオリンピック</p> <p>・以前と比べてブラジルの輸出額は伸びている。</p>

	<p>○ブラジルの人口はどのように変化しているのでしょうか。</p> <p>○ブラジルのGDPはどのように変化しているのでしょうか。</p> <p>○以上のことから、ブラジルの経済はどのように変化してきたといえるのでしょうか。</p> <p>○この2枚の写真は、どちらも今年オリンピックが開催されたリオデジャネイロ市の写真である。右の写真のような場所を何というか。</p> <p>○この2枚の写真を見て、どのようなことを考えましたか。</p> <p>◎なぜ、経済が発展しているのにファベラ（スラム）がなくなるのだろうか？</p>	<p>T：質問する S：答える</p> <p>T：質問する S：答える</p> <p>T：質問する S：答える</p> <p>T：質問する S：答える T：説明する</p> <p>T：質問する S：答える</p>	<p>14</p> <p>15</p> <p>16</p> <p>17</p> <p>~19</p>	<p>・ブラジルの人口は増えている。</p> <p>・以前と比べてブラジルのGDPは増加している。 ・世界第7位</p> <p>・ブラジルは人口も増え、輸出額、GDPともに伸びる等、経済が発展してきたと言える。</p> <p>※スラム＝都市部にある貧困層の人々が住む地域。土地を不法に占拠し、居住している。ブラジルではファベラと呼んでいる。ブラジル国内で人口の6%にあたる約1200万人がファベラに暮らしており、その数は増え続けている。リオデジャネイロ市には約500カ所あり、市民の4人に1人がファベラで暮らしている。電気は通っていないが、富裕層が住む住宅街の電線から盗電をしている。</p> <p>・ブラジルは経済が発展しているはずなのに、しっかりとした家で暮らしていない人がいる。</p>
展開 I	<p>・教科書にはどのように書かれているのだろう。</p> <p>◎なぜ経済が発展しているのに、ファベラがなくなるのだろうか。</p>	<p>T：指示する S：教科書を読む。</p> <p>T：発問する S：考えをホワイトボードにまとめる S：発表する</p>		<p>・ブラジルでは働く機会を求めて多くの人が集まり、急激に人口が増加した。 ・そうした住民の多くが賃金の安い仕事に就くようになった。</p> <p>・働く機会を求めて多くの人は都市に集まってきたが、賃金の安い仕事にしか就けないから。＝仮説①</p>
展開 II	<p>○この資料は何を示しているのでしょうか。</p> <p>○ファベラの平均所得で暮らす人々はどんなタイプの部屋に引っ越しができるだろうか？</p> <p>○なぜ、こんなにも物価や家賃が上昇したのだろう。</p> <p>◎なぜ経済が発展しているのに、ファベラがなくなるのだろうか。</p>	<p>T：質問する S：予想して答える T：説明する</p> <p>T：質問する S：答える</p> <p>T：発問する S：答える</p> <p>T：発問する S：話し合う S：考えをホワイトボードにまとめる S：発表する</p>	<p>20</p> <p>21</p> <p>22</p>	<p>・ファベラに居住する人数の移り変わり・・・など</p> <p>・ファベラに住む人々の平均的な収入（家族収入）の推移を表したもの。</p> <p>・20年前と比べて、収入は6倍に増加している。</p> <p>・賃金の安い仕事にしか就けないためファベラがなくなるという仮説①では、学習課題に対する説明ができないのではないか。</p> <p>・どの部屋にも引っ越しができない。</p> <p>・低所得層の人々の割合は減っているが、富裕層や中間層の人々の割合が増えており、全体的に裕福な人が増えたから。</p> <p>・ファベラに住む人々の収入は増えたが、（物価の上昇や、貧富の差の拡大のため、貧しい状態は変わらずファベラから出て行けないから）＝仮説②</p>
まとめ	<p>○ファベラはブラジルだけに見られる現象でしょうか。</p> <p>・次回の授業の予告を行う。</p>	<p>T：質問する S：答える T：説明する</p>	23	<p>・他の国でも見られる。</p> <p>・ファベラ（他国ではスラムと呼ぶが）は経済成長した国</p>

に共通して見られる傾向がある。

第5・6時

	発問 (◎)・質問 (○)・指示 (・) など	教授・学習活動	資料	習得させたい知識・予想される反応																
導入	・ブラジルについて、経済発展という視点に立って学習してきました。どのような特徴があったか、これまでの学習を踏まえて考えよう。	T：指示する S：各自で解釈して表現する		①ブラジルは経済発展が著しく、世界でも有数の経済大国である。 ②ブラジルは経済を発展させるために、環境問題が起きている。 ③ブラジルは経済発展にともなう貧富の差の拡大や物価の上昇等により、スラム（ファベラ）が見られる。																
展開 I	◎ブラジルに見られたこのような特徴は、南アメリカ州の他の国々にも見られるのだろうか？ ・①～③の視点から、他の南アメリカ州の国々で、同じような特徴が見られるか、本やインターネットなどを活用して調べてみよう。	T：発問する S：推測する  T：指示する S：調査し、まとめる（ブラジル以外の南アメリカ州の国々で検証）																		
展開 II	・グループ調査結果の発表	T：指示する S：調査したことを発表する																		
まとめ	◎それぞれの調査グループの発表から、ブラジルに見られた特徴は、南アメリカ州全体の特徴といえるだろうか。 ・国別で①～③のような特徴が見られるか、各グループの調査結果をまとめてみよう。 ◎南アメリカ州はどんなところだろうか？	T：発問する S：各自で解釈し答える T：指示する S：まとめる  T：発問する。 S：学習したことをもとに、ノートに書く。		・ブラジルに見られた特徴は、他の南アメリカ州の国々でも共通して見られた特徴である。 【生徒に検証用に配布したワークシート】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルゼンチン</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ペルー</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>コロンビア</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> ・発展途上の国が多いが、以前と比べるとどの国も経済的に豊かになってきた地域である。しかし、その一方で環境問題や都市問題といった経済発展にともなう諸問題が、ブラジルだけでなく州全体で見られるという特徴を持った州である。		①	②	③	アルゼンチン	○	○	○	ペルー	○	○	○	コロンビア	○	○	○
	①	②	③																	
アルゼンチン	○	○	○																	
ペルー	○	○	○																	
コロンビア	○	○	○																	

## (2) 授業において使用した資料とその出典

- 世界の主な気候…『中学校社会科地図』帝国書院, 2015, PP.11-12
- DVD…『世界の諸地域～南アメリカ州』帝国書院, 2014
- サッカーブラジル代表チームの写真…G A T A Gフリー画像・写真素材集 <http://free-photos.gatag.net>
- 南アメリカのおもな言語と人種・民族構成…『社会科 中学生の地理』帝国書院, 2015, P93
- 世界の主な産物…『中学校社会科地図』帝国書院, 2015, P161
- ブラジル輸出津費品の変化…『社会科 中学生の地理』帝国書院, 2015, P93
- アマゾンの森林破壊の写真…特定非営利活動法人 熱帯森林保護団体 R F J ホームページ [http://www.rainforestjp.com/current\\_state/history/](http://www.rainforestjp.com/current_state/history/)
- カラジャス鉱山の写真…グーグルアース
- なぜカラジャス鉱山を開発できたのか…和田昌親『ブラジルの流儀』中公新書, 2011
- カラジャス鉱山鉄道の写真…(社)日本ブラジル中央協会が発行する月刊誌『ブラジル特報』2007年11月号 <http://www.bizpoint.com.br/site-antigo/jp/reports/oth/sw0802.htm>
- 日本の援助によりセラードが開発された…『帝国書院地理シリーズ 世界の国々7 南アメリカ州』帝国書院, 2012
- リオデジャネイロオリンピックで活躍する日本人選手の写真…時事通信社時事ドットコム [http://www.jiji.com/jc/rio2016?p=rel819&d=d4\\_rio](http://www.jiji.com/jc/rio2016?p=rel819&d=d4_rio)
- 3～15 ブラジルの輸出額, 人口, GDPの推移…世界経済のネタ帳 <http://ecodb.net/country/BR/>
- 16 GDP世界ランキング…IMF-World Economic Outlook Database 2015をもとに授業者がグラフ化した
- 17 ファベラの様子…『池上彰が注目するこれからの大都市・経済大国③』講談社, 2015, P6-7
- 18 高層ビルとファベラ…世界の貧困を伝える旅ホームページ <http://travelfortellingpoverty.blogspot.jp/2013/08/blog-post.html>
- 19 ファベラに住む人々の写真…毎日新聞写真部の資料 <https://twitter.com/mainichiphoto/status/688565564655009793>
- 20 ファベラに住む人々の平均収入の推移… <http://www.meti.go.jp/report> 及び <https://mshoji.wordpress.com/2011/03/30> をもとにして授業者がグラフ化した
- 21 リオデジャネイロの賃貸相場や不動産事情… <http://immigrationno.com> をもとにして授業者がグラフ化
- 22 ブラジルの所得階層別人口…堀坂浩太郎『ブラジル～飛躍の軌跡～』岩波新書, 2012, P110 及び『池上彰が注目するこれからの大都市・経済大国③』講談社, 2015, P23 をもとにして授業者がグラフ化
- 23 世界各地のスラムの写真…ボランティア団体のホームページ <http://sekayume.com/>

## 4 おわりに

「魚を与えるのか、釣り竿を与えるのか」という言葉がある。魚は「知識」を、釣り竿（魚の取り方）は「見方・考え方」の例えであると考えることができる。大観学習→ブラジルを事例に追究した学習→他の南アメリカ州の国々でもブラジルで見られた特色があるのかどうか調査・検証し、南アメリカ州の特色を吟味する、このような授業の流れを設定することで、魚・釣り竿の両方の獲得をすることができたことは、大きな成果であると考え（ただし、本実践をする際に参考にさせていただいた中本和彦氏の研究論文「地歴科地理・単元 ラテンアメリカの教育内容開発（2002）」において、「ブラジルはラテンアメリカの特色を説明する上で最も典型的な地域であり、ラテンアメリカはブラジルに見られるような政治・経済・社会に及ぶ類似性や傾向性が見られるという特色がある」とあるように、南アメリカ州だからこそ、このような授業の組み立てが成り立ったのかもしれないということは注意しておく点である）。

また、同じ問い（南アメリカ州はどんな所だろう？）を繰り返したり、記述した内容を交流したりすることで、「～と関連づける」「～でもみられる」「～とは違う」「そもそも～なのか」「自分は～と思っていたが見方が変わった」「～の立場（や視点）から見てみると」等の仲間の記述に出会い、単元のまとめにおいて、社会的な見方や考え方の深まりを見取ることができたということも大きな成果と言える。

※同じ問いを続けることを他の州の学習の際にも引き続き実践したが、生徒は「南アメリカ州でも見られたように・・・」という具合に既習事項を他の事例に応用・転移させて記述するなど、考察の質が上がり、本校社会科が目指す学びの形に近づけることができたと考える。

しかし、次期学習指導要領のキーワードの一つにもなっている「主体的」という面から見ると、全体を通じて教師主導で授業が構成されていることもあり、生徒自身の能動的な学び（社会の有り様や在り方を問うということも含めて）という面では課題が残った。生徒の思考過程を目にすることができるノートをチェックしていくことで、生徒がどんな資料を欲しているのかつかみ、生徒がより主体的に深く考えられるような授業を創造できるよう、更に研究を深めていきたい。

結びに、本実践をしていくにあたり、ご支援やご指導をいただいた県教育委員会 佐藤雄二先生、県総合教育センター長田英和先生、山梨大学大学院 服部一秀先生、後藤賢次郎先生、堀之内睦男先生、研究協力員の先生方に心より感謝を申し上げます。

## 5 参考文献

- ・「中学校学習指導要領」（2008）文部科学省
- ・「中学校学習指導要領解説」（2008）文部科学省
- ・辰巳勝・辰巳眞知子「図説 世界の地誌」（2016）古今書店
- ・「池上彰が注目するこれからの大都市・経済大国③」（2015）講談社
- ・金七紀男「図説 ブラジルの歴史」（2014）河出書房新社
- ・一般財団法人石油エネルギー技術センター第31回レポート（2014）
- ・ラジオ NIKKEI マーケットレポート「日本の石油精製業、存続危機に？」（2014）
- ・丸山浩明編「世界地誌シリーズ6 ブラジル」（2013）朝倉書店
- ・「帝国書院地理シリーズ 世界の国々7 南アメリカ州」（2012）帝国書院
- ・堀坂浩太郎「ブラジル～飛躍の軌跡～」（2012）岩波新書
- ・和田昌親「ブラジルの流儀」（2011）中公新書
- ・アンジェロ・イシ「ブラジルを知るための56章」（2010）明石書店
- ・ザイ・デッカー「ナショナル・グラフィック 世界の国 ブラジル」（2010）ほるぷ出版
- ・中本和彦「地歴科地理・単元『ラテンアメリカ』の教育内容開発」広島県立教育センター（2001）